事	事業名 62 審核		99	飛騨国府ふるさとイベント開催事業	担当課			国府支所 基盤産業課	内線 3831
	会計			一般会計	位別	0	Α	合併前から実施されているイベント・行	事
予			6	商工費	므로		В	一般予算の上乗せとして実施されてい	いる事業
算	算 項		2	観光費	付算の		С	終期を定めて実施する事業・単年度事	業
	目		1	観光振興費	"		D	その他事業	
	根拠計	画		地域振興計画					
ī	市長公約	ı	1	積極的な観光振興策を実施します。					

#### 1 事業の目的・概要(Plan)

	誰を(対象)	観客動員数	対象者数	6,800	人
目的	どういう状態 にしたいのか (意図)	地域住民で創り上げてゆくイベントであり、地域住民の連帯感が高まる。	也域づくり、より良いま	ちづくりが期待でき	る。
概要	事業の 実施手法 (手段)	飛騨国府季の里さくら祭り、飛騨国府サマージョイフェスタの開催			

### 2 事業の推移・結果(Do)

	さくら開花の期間中は、夜のライトアップを実施し、多くの来場者が鑑賞した。さくら祭りでは、風船に国府地域のPR
1104の中体	を記入して飛ばし、イベントを盛り上げることができた。
H24の実績	サマージョイフェスタについては、炬火リレーや、東北地域の振興PRなどを取り入れた企画を掲げ、人と人との絆を
	テーマに 地域住民の交流を促進して 国府地域づくりに大いに貢献できた。

		指標名	単位	目標·実績	H23	H24	H25
	観客動員数			目標値	6,800	6,800	6,800
	既各勁貝奴			実績値	4,860	6,000	-
	算出根拠等	国府人口(7845人)の6割+町外2000	(7845人)の6割+町外2000人を想定		71	88	-
				目標値			
				実績値			-
	算出根拠等			達成率(%)			-
				目標値			
成				実績値			-
成果	算出根拠等			達成率(%)			-
面				目標値			
				実績値			-
	算出根拠等			達成率(%)			-
				目標値			
				実績値			-
	算出根拠等			達成率(%)			-
				目標値			
				実績値			-
	算出根拠等			達成率(%)			-

事業費 を除き繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額
歳出(千円) (4	3,100	3,100	
・負担金等)			

3,100 財 受益者負担(使用料・1 源 み この他特定財源(国・リ 一般財源 その他特定財源(国・県支出金・起債等) 3,100 3,100 3,100 コスト 受益者1件当たり(円) (A/B) 638 517 456 受益者 観客動員数(人) 4,860 6,000 6,800

3	分析·評価(C	heck) ※平成24年度の実績を評	価						
	評価項目	評価観点		評価	基準	評価	評価内容	容の説明(評価の理由等)	
		・事業実施に対する市民ニーズの傾向はど	A (2)	ニーズが高い					1 2 7 4
1	市民ニーズ の確認	か ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニー	-ズ B (1)	ある程度のニーズ	がある	Α		、て根付いており、地域の連帯感 ている。上宝や古川など周辺地域	
		は減少していないか	C (0)	ニーズが低い			一		
			A (2)	事業主体を見直す	余地はない				
2	市が実施する 必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	B (1)	一部見直しが必要	である	Α		まなど各種団体・個人の協力を基 域が手を取り合って開催され、一	
			C (0)	市が実施する必要	性が低い		同のしいる。		
			A (2)	目的とする成果が	十分にあがっている				
3	活動内容の 有効性	<ul><li>・目的とする成果があがっているか</li><li>・成果指標などの目標値の達成状況はどう</li></ul>	5 h Β (1)	目的とする成果が	ある程度あがっている	В	地域の最大イベントとし 方が楽しみにしておりま	、て子どもから高齢者まで幅広く、 k場者も多い。	多くの
			C (0)	目的とする成果があ が必要である	がってないため大幅な見直し				
		・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託化など事業の効率化・省力化に向け		事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない			個 し 国仕へ業からの	協賛を積極的に募るなど自主財	海龙/中
4	執行方法 の効率性	施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を	を軽 B (1)	事業効率化・コスト縮	滅等がある程度図られている	В		小限の投入コストで内容の充実	
		減する余地はないか ・受益者負担は適正か	C (0)	効率化が図られていないため大幅な見直しが必 要である					
		・事業の実施が市の政策、施策の推進に対 があったか	効果 A (2)	効果があった					
(5)	政策面に おける効果	・総合計画及び主要計画等の目標達成を関 上で有効に機能したか	B (1)	ある程度効果があ	ot	Α	地域の連帯感・コミュニティの醸成、郷土愛を育むなど地域 の上で重要な要となる事業となっている。		也域振興
		・市長公約の実現を図る上で有効に機能し か	C (0)	あまり効果が見ら	れなかった				
		合計	8	/ 10	$\rightarrow$		100点換算	80	点
(Г,	分析・評価で 明らかになった。 A」評価にするため 必要なのかを記	課題 りに何が 地域で自立して事業を実施して行	行けるよう関係	かるよう関係者と協議し、自主財源を確保し自主運営ができるよう努力する必要がある。					
	(参考) H24事業評価網 (二次評価)	・地域主体の事業とすべく、負担: ・特例期間終了を見据え、地域へ				縮小して	いく必要がある。		

### 4 今後の方向性(Action)

課題等に対する 今年度の対応状況

地域の観光振興とともに、元気な地域づくりを推進するため、27年度以降一般予算での対応を検討する。

	0	維持•改善		拡大		縮小		廃止の検討		H25完了予定
次年度の 実施方針 (担当課評価)	地域唯	<b>≛</b> −のイベントとして定着し <sup>・</sup>	ており、	今後も観光振興とともに、対	元気なは	地域づくりの役割が大きい。	ことから	s、自主財源の確保を図りた	いがら継	続する。

0

縮小

廃止の検討

H25完了予定

二次評価										
CENTER ON THE BATHER OF CENTER			44 50 40 00 46							
一次計画	. +sh +=t -	トはの事業しせべく	#± /5il #0 88 4/5	フナ目択る	<b>年かり士福ナ</b>	(会小士)	ス.沙 雨 ぷ セ ス			

拡大

・地域主体の事業とすべく、特例期間終了を見据え、行政の支援を縮小する必要がある。・各種効果について分析を行い、各イベントのあり方について検討する必要がある。

維持·改善

事	事業名 <sup>番枝</sup>		地域老人福祉推進事業費 (老人クラブ活動費助成事業)	担当課			国府支所 地域振興課	内線 3821
	会計		一般会計	位 特		Α	合併前から実施されているイベント・行	事
予			民生費	位 別 置 予	0	В	一般予算の上乗せとして実施されてい	いる事業
算	算 項		社会福祉費	1寸 算		С	終期を定めて実施する事業・単年度事	業
	目	3	老人福祉費	′′		D	その他事業	
	根拠計画		地域振興計画					
	市長公約	5	医療・福祉を充実させます 地域住民が互いに支えあう仕組みや、緊急時の支援 備します。	髪を万全にす	るた	め、1	虫居老人、要援護者等への地域福祉体	制を整

#### 1 事業の目的・概要(Plan)

	誰を(対象)	60歳以上の市民で構成される単位老人クラブ及び連合組織	対象者数	9,677 人			
目的	どういう状態 にしたいのか (意図)	明るい長寿社会と豊かな老後を目指す。					
概要							

### 2 事業の推移・結果(Do)

H24の実績 市連合長寿会に対して、事務局人件費を助成。

			指標名	単位	目標·実績	H23	H24	H25
	活	連合長寿会会員	**	人	目標値	10,500	10,000	10,000
	動指	建石女开云云兵	190	^	実績値	9,796	9,584	-
	標	算出根拠等	目標値/実績値		達成率(%)	93	96	-
	活動指	油 ム 巨 主 ム 単 だ	・キーカニゴ粉	クラブ	目標値	150	143	139
		連合長寿会単位老人クラブ数		9,00	実績値	143	139	-
	標	算出根拠等	目標値/実績値		達成率(%)	95	97	-
	活	連合長寿会加入	<del>4</del>	%	目標値	43	40	40
成	動指	建百女开云加入	华	70	実績値	39	38	-
果	標	算出根拠等	連合長寿会加入者数/65歳以上人		達成率(%)	91	95	-
面					目標値			
					実績値			-
		算出根拠等			達成率(%)			-
					目標値			
					実績値			-
		算出根拠等			達成率(%)			-
					目標値			•
					実績値			-
		算出根拠等			達成率(%)			-

		(人件費を	事業費 ・除き繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額
			歳出(千円)	(A)	420	420	420
コス		<b>在</b> 者負担(使用料	•負担金等)				
۲	源 内	)他特定財源(国·	県支出金・起債等)		162	150	280
面		段財源			258	270	140
	コスト	受益者1件当た	り(円)	(A/B)	283	288	286
	指標 受益者 国府区会員数(4月1日現在)				1,485	1,460	1,470

3	分析·評価(C	heck) <u>※平成24年度の実績を評価</u>							
	評価項目	評価観点		評価	基準	評価	評価内容	容の説明(評価の理由等)	
		・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどう	A (2)	ニーズが高い				地域で、他の高齢者や住民と交流を持ち	
1	市民ニーズ の確認	か ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズ	B (1)	ある程度のニーズ	がある	В	ながら健康で日常生活を送るための活動として、市民の関心は 高く、地域活動にも根付いているが、高齢者のニーズの多様化 により加入率が低下している。		
		は減少していないか	C (0)	ニーズが低い			により加入率が低下し	率が低下している。	
			A (2)	事業主体を見直す	余地はない		市は、老人福祉法(第-	十条の三第一項)の規定により、老人クラ	
2	市が実施する 必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	B (1)	一部見直しが必要	である	Α	ブなどの老人福祉を増進する目的とする事業を行う者の活動の 連携及び調整、地域の実情に応じた体制整備に努めなければ ならないため。		
			C (0)	市が実施する必要	性が低い				
			A (2)	目的とする成果が	十分にあがっている				
3	活動内容の 有効性	<ul><li>・目的とする成果があがっているか</li><li>・成果指標などの目標値の達成状況はどうか</li></ul>	B (1)	目的とする成果が	ある程度あがっている	В	老人クラブ加入者は、年々減少傾向であるため、長寿会の組織 の見直しや活動内容の充実に取り組んでいる。		
			C (0)	目的とする成果があ が必要である	がってないため大幅な見直し				
		・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託化など事業の効率化・省力化に向け実		事業効率化・コスト	縮減等の改善の余地はない		+7445+		
4	執行方法 の効率性	施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽 減する余地はないか	B (1)	事業効率化・コスト縮	減等がある程度図られている	Α	支所地域長寿会事務局の人件費補助として、最小限の経費である。		
		・受益者負担は適正か		効率化が図られてい 要である	ないため大幅な見直しが必				
		・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか		効果があった					
(5)	政策面に おける効果	・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか	B (1)	ある程度効果があ	iots	Α	長寿会活動に参加することにより、高齢者の健康増進と閉じこ もり予防が図れた。また、高齢者に多い病気に対する理解を深 めることができた。		
		・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	<b>C</b> (0)	あまり効果が見ら	れなかった				
	合計			/ 10	$\rightarrow$		100点換算	. A 08	
([	分析・評価で 明らかになったi A」評価にするたる 必要なのかを記	課題 新規加入者が少なく、連合長寿会会 かに何が の充実と活発な取り組みが必要であ		 は位クラブの滅が課題		がいを持	って生活するために、地	域とのつながりも深めながら、今後一層	

### (参考) H24事業評価結果 (二次評価)

・市域全体としては、会員数・クラブ数は減少傾向にあり、事業効果が高齢者全体に及んでいないようになってきていることから、老人クラブ活動費補助金との一本化については、今後の支援のあり方も含めて検討する必要がある。

### 4 今後の方向性(Action)

課題等に対する 今年度の対応状況

・本補助金を有効に活用するため、老人クラブにおける活動内容の見直しを進めながら事業継続し、組織の育成と活動の支援を行う。

拡大

拡大

0

0

維持·改善

維持·改善

・老人クラブ活動費補助金(31336事業)との一本化を図る。

二次評価
企画課·総務課·財政課評価)

・市域全体としては、会員数・クラブ数は減少傾向にあり、事業効果が高齢者全体に及んでいないようになってきていることから、老人クラブ活動費補助金との一本化に ついては、今後の支援のあり方も含めて検討する必要がある。

縮小

縮小

廃止の検討

廃止の検討

H25完了予定

H25完了予定

事	業名 —	53299 生活環境保全林管理事		担当課			国府支所 基盤産業課		
	会計		一般会計	位 特		Α	合併前から実施されているイベント・行	3831 事	
予	款	5	農林水産費	置낖		В	一般予算の上乗せとして実施されてい	る事業	
算	項		林業費	付算		С	終期を定めて実施する事業・単年度事	業	
	目	2	林業振興費	່"	0	D	その他事業		
	根拠計画								
ī	市長公約	1	積極的な観光振興策を実施します。						

#### 1 事業の目的・概要(Plan)

	誰を(対象)	市民数	対象者数	92,097	人
目的	どういう状態 にしたいのか (意図)	洗心の森の安全管理を行うことで、保健休養や自然観察の場として、多	ō.		
概要	事業の 実施手法 (手段)	・舗装修繕工 A=61㎡ ・手摺修繕工 L=90m ・階段修繕工 N=100基			

### 2 事業の推移・結果(Do)

算出根拠等

		H24の実績	・舗装修繕工 A=144㎡ ・手摺修繕工 L= 10m ・階段修繕工 N=140基					
			指標名 指標名	単位	目標·実績	H23	H24	H25
	成果	利用者数		人	目標値	4,600	4,600	4,600
	来 指	们用日数			実績値	3,200	3,250	-
	標	算出根拠等	全市民の5%を想定		達成率(%)	70	71	-
					目標値			
					実績値			1
		算出根拠等			達成率(%)			-
					目標値			
成					実績値			1
成果面		算出根拠等			達成率(%)			-
血					目標値			
					実績値			-
		算出根拠等			達成率(%)			-
					目標値			
					実績値			-
		算出根拠等			達成率(%)			-

目標値 実績値

達成率(%)

		(人件費	事業費 上除き繰越・補正を含む	)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額
			歳出 (千円)	(A)	5,670	2,814	3,000
コス		者負担(使用料	•負担金等)				
۲	源 内	他特定財源(国	·県支出金·起債等)				
面		財源			5,670	2,814	3,000
	-1/VI:	受益者1件当た	り(円)	(A/B)	61	30	33
	指標	受益者	市民(人)	(B)	93,312	92,861	92,097

	評価項目	評価観点		評価	基準	評価	評価内容	学の説明(評価の理由等)	
		・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどう	A (2)	ニーズが高い					
1)	市民ニーズ の確認	か・社会情勢の変化など時の経過に伴いニー	B (1)	ある程度のニーズ	がある	В	飛騨唯一の国宝を有する安国寺の裏山に位置し、市民の健康 増進や自然観察・憩いの場として広く利用され、また安国寺とと もに観光資源として活用できる。		
		は減少していないか	C (0)	ニーズが低い					
			A (2)	事業主体を見直す	余地はない				
市が実施す 必要性	市が実施する 必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	<b>B</b> (1)	一部見直しが必要	<b>!である</b>	Α	生活環境保全林として位置づけられ、誰もが安全に自由に利利できるよう整備及び管理しておく必要がある。		
			C (0)	市が実施する必要	性が低い				
			A (2)	目的とする成果が	十分にあがっている		利用率を高めるため、施設のPRに努める。		
	活動内容の 有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうが	В (1)	目的とする成果が	ある程度あがっている	В			
			C (0)	目的とする成果があ が必要である	がってないため大幅な見直し				
Ī		・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託化など事業の効率化・省力化に向け事	A (2)	事業効率化・コスト	縮減等の改善の余地はない		安全性や景観上からも、継続的に事業を行っており、修繕箇所 数の増減によりコストが変動する。		
	執行方法 の効率性	施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を	B (1)	事業効率化・コスト縮	滅等がある程度図られている	В			
		減する余地はないか ・受益者負担は適正か	C (0)	効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である					
Ī		・事業の実施が市の政策、施策の推進に効! があったか	果 A (2)	効果があった					
,	政策面に おける効果	・総合計画及び主要計画等の目標達成を図 上で有効に機能したか	B (1)	ある程度効果があ	っった	В	小さな子供や高齢者ま 保され景観が向上してし	で幅広い利用者に対応して、安 いる。	全が確
		・市長公約の実現を図る上で有効に機能した か	C (0)	あまり効果が見ら	れなかった				
		合計	6	/ 10	$\rightarrow$		100点換算	60	点
(ΓΑ	分析・評価で 明らかになった。 」評価にするたる 必要なのかを記	課題 市民及び観光客が積極的に活用で	できるようPR	活動が必要である。	1		1		

(参考) H24事業評価結果 (二次評価)

・整備と維持管理以外に、市内外へのPR、利活用についても検討する必要がある。

### 4 今後の方向性(Action)

課題等に対する 今年度の対応状況

市内の小中学校等へ遠足等での利用をPRする。

維持·改善

	)	班拉. 改具		144	報り	元正の役割	L
次年度の 実施方針 (担当課評価)	修繕す	-べき階段、手摺などが残っ	っている	ため、継続して実施する。			

縮小

廃止の検討

拡大

H25完了予定

H25完了予定

	二次記	<b>∓./</b> ∓		
企画課・			課評	価)

0

・市全体のバランスを考慮し、一般予算で実施しているものとの整合を図って実施する必要がある。

1	事業名 <sup>番枝</sup>		地域社会教育推進事業費 (コミュニティ醸成事業)	担当課			国府支所 地域振興課	内線 3821	
	会計 1 款 9 項 4		一般会計	<sub>位</sub> 特		Α	合併前から実施されているイベント・行	事	
			教育費	置另	0	В	一般予算の上乗せとして実施されている事業		
算			社会教育費	位置付ける		С	終期を定めて実施する事業・単年度事業		
			社会教育総務費	່"		D	その他事業		
	根拠計画		地域振興計画						
	市長公約		個人・家庭・地域を大切にする社会を築きます。 ・市民が幸せな家庭生活を送り、安心して暮らせる地 予算枠を確保します。	は域を築くたと	め、地	域σ	D自主的なコミュニティ活動や環境整備	事業の	

#### 1 事業の目的・概要(Plan)

	TAVIET MS							
	誰を(対象)	国府地域の市民	対象者数	7,810 人				
目的	・国府地域の環境美化を推進するとともに、町内会等が主体となり化を育てることによって地域の 図る。・保育園・小学校・中学校においても花苗を育てることによって情操教育の一環を担うと共に、環境 図る。・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・							
概要	事業の 実施手法 (手段)	・・花苗(インパチェンス・ベコニア・日日草・マリーゴルド・サルビア・アゲラ 内会・学校等に配布し、各団体が主体となり人が集う場所や沿道にて花 ・希望する団体にはブランター及び用土を配付し、移動可能な花を育て、	を育て飾る。					

### 2 事業の推移・結果(Do)

	国府地区においては24町内会のうからも花苗の配布要望があり、国府					<b>副管理者、安国寺</b>
	<b>指</b> 煙名	単位	日標·宝结	H23	H24	H25

			指標名	単位	目標·実績	H23	H24	H25
	活	##=> <del>*</del> +*		本	目標値	15,000	15,000	15,000
	動指	花苗配布本数		4	実績値	15,323	15,636	-
	標	算出根拠等			達成率(%)	102	104	-
	成田	国府地域の町内	o 全 关 加 为	団体	目標値	29	29	29
	果指	国内 地域の町内	1太守沙加奴	- M	実績値	28	28	-
	標	算出根拠等			達成率(%)	97	97	-
					目標値			
成					実績値			-
成果面		算出根拠等			達成率(%)			-
Ш					目標値			
					実績値			-
		算出根拠等			達成率(%)			-
					目標値			
					実績値			-
		算出根拠等			達成率(%)			-
					目標値			
					実績値			-
		算出根拠等			達成率(%)		·	-

#### 国体への協力による注文数の増加

		(人件費	事業費 と除き繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額
			歳出 (千円)	(A)	813	845	1,200
コス		益者負担(使用料	•負担金等)				
۲	源 内	)他特定財源(国	·県支出金·起債等)				
面					813	845	1,200
	コスト	受益者1件当た	り(円)	(A/B)	103	108	154
	指標	受益者 国府地域市民 (E		(B)	7,892	7,845	7,810

	分析·評価(C 評価項目	heck) <u>※平成24年度の実績を評価</u> 評価観点		評価	基準	評価	評価内容	容の説明(評価の理由等)		
		・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどう	<b>A</b> (2)	ニーズが高い				0.1+00m+4 / // / / / / / / / / / / / / / / / /	- 1111	
1	市民ニーズ の確認	か ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズ	B (1)	ある程度のニーズ	がある	Α	山市福祉サービス公社	のうち23町内会、保育園・小・中: ・社会福祉協議会国府支部・桜! 前の要望があり、市民のニーズは	野公園	
		は減少していないか	C (0)	ニーズが低い			EAR XEVENIE	100 X 10 X 10 X 10 X 10	×1010.0	
			A (2)	事業主体を見直す	余地はない					
2	市が実施する 必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	B (1)	一部見直しが必要	である	В		a議会が実施している「花いっぱし るため、事業の統一化を検討する		
			C (0)	市が実施する必要	性が低い		w.v.			
			A (2)	目的とする成果が	十分にあがっている			なることによって、住民の連携意識や環境		
3	活動内容の 有効性	<ul><li>・目的とする成果があがっているか</li><li>・成果指標などの目標値の達成状況はどうか</li></ul>	B (1)	目的とする成果が	ある程度あがっている	В	に対する意識の高揚に繋がっている。また、10団は 会6)がプランターで花を育成し、第2回飛驒高山ウ ンのゴールを149個のプランターで花道を作り、参		1ウルトラマラン	
			C (0)	目的とする成果があ が必要である	がってないため大幅な見直し		てなしすることができた			
		・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託化など事業の効率化・省力化に向け実	<b>A</b> (2)	事業効率化・コスト	縮減等の改善の余地はない		man 人 b // 李丽 山 由	学校が苗の植え付けや作業を行		
4	執行方法 の効率性	施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽	B (1)	事業効率化・コスト縮	滅等がある程度図られている	Α		品(花の苗)のコストで事業が執行		
		減する余地はないか ・受益者負担は適正か	C (0)	効率化が図られてい 要である	ないため大幅な見直しが必		00 7 ( 130 ( 0 ) 7 ( 1 0 ) 7 ( 1 0 ) 7			
		・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか	A (2)	効果があった			保育園児~町内会に至	こる全国府町民が係ることによっ <sup>*</sup>	て、地域	
⑤	政策面に おける効果	・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る 上で有効に機能したか	B (1)	ある程度効果があ	った	Α	の購入を障害者支援施	の意識高揚に繋がるばかりでな 設吉城山ゆり園と契約すること!	により福	
		・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	長公約の実現を図る上で有効に機能した C (i) あまり効果が見られなっ		れなかった		祉事業への支援にも繋	がっており効果は十分にあった。	0	
		合計	8	/ 10	$\rightarrow$		100点換算	80	点	
([,	分析・評価で明らかになった。 明らかになった。 A」評価にするため 必要なのかを記	課題 ウルトラマラソンヘプランターを提供す	「る町内会	宗は24町内会中6町	内会のみであり、さらなるほ	竹内会の	理解が必要である。			

H24事業評価結果 (二次評価)

「花いっぱい運動」については、一般予算による補助金(市民憲章推進事業補助金、特色ある地区活動事業補助金等)との整理が必要である。特例期間終了を見据え、市全体のバランスを考慮し、助成のあり方・事業費規模などについて検討する必要がある。

### 4 今後の方向性(Action)

課題等に対する 今年度の対応状況

国府地区連合町内会会議の場において、ウルトラマラソンへの参加趣旨を説明し、協力団体を募った。

拡大

普段は国府町内を飾る花として、イベントの際はおもてなしの花として活用できるよう位置づけ実施する。

維持·改善

次年度の (担当課評価)

拡大 縮小 廃止の検討 H25完了予定 維持·改善

縮小

廃止の検討

H25完了予定

(企画課・総務課・財政課評価)

・「花いっぱい運動」については、一般予算による補助金(市民憲章推進事業補助金、特色ある地区活動事業補助金等)との整理が必要である。 ・特例期間終了を見据え、市全体のバランスを考慮し、助成のあり方・事業費規模などについて検討する必要がある。

車	業名	947	799	伝承芸能保存団体助成事業	担当課			国府支所地域振興課	内線
7	* 1	番枝		MATERIA MITTERIA PA	Ī				3811
	会計		1	一般会計	位 特		Α	合併前から実施されているイベント・行	事
			9	教育費	位置:	0	В	一般予算の上乗せとして実施されてい	いる事業
算	項	į	4	社会教育費	付		С	終期を定めて実施する事業・単年度事	業
	目		7	文化財費	けのの		D	その他事業	
	根拠詞	計画		地域振興計画					
市長公約			9	伝統文化を守り、次世代へ継承します。					

#### 1 事業の目的・概要(Plan)

	誰を(対象)	国府地域市民	対象者数	7,810 人
目 どういう状態   県指定の重要無形民俗文化財の荒城神社の鉦打・獅子舞・金蔵獅子(3箇所)、市指定の桐谷白に (意図)   県指定の重要無形民俗文化財の荒城神社の鉦打・獅子舞・金蔵獅子(3箇所)、市指定の桐谷白に (意図)				・ 白山神社の槍獅子を
相要		県・市指定の無形民俗文化財を継承している保存会で、用具の維持費 文付先は、荒城神社、広瀬神社、富士神社、加茂・諏訪神社、桐谷白山		

### 2 事業の推移・結果(Do)

H24の実績	補助団体数	5団体	補助金額	225,000円

			指標名	単位	目標·実績	H23	H24	H25	
村村村	成果	補助件数		件	目標値	5	5		5
	果指	補助計数		1+	実績値	5	5	-	
	標	算出根拠等			達成率(%)	100	100	-	
ŧ	成果	保存会の存続件	数	件	目標値	5	5		5
	指	IN THE CONTROLLE	**		実績値	5	5	-	
	標	算出根拠等			達成率(%)	100	100	-	
					目標値				
成					実績値			-	
果		算出根拠等			達成率(%)			-	
囬	声				目標値				
					実績値			-	
		算出根拠等			達成率(%)			-	
					目標値				
					実績値			-	
		算出根拠等			達成率(%)			-	
					目標値				
					実績値			-	
		算出根拠等			達成率(%)			-	

		(人件費を	事業費 を除き繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	
			歳出(千円)	(A)	225	225 225		
コス		益者負担(使用料	•負担金等)					
۲	の その他特定財源(国・県支出金・起債等)							
面					225	225	225	
	コスト	受益者1件当た	り(円)	(A/B)	29	29	29	
	指標 受益者 国府地域市民数(4月1日)		(B)	7,892	7,845	7,810		

#### 2 公析·訶価(Cheek) ※平成24年度の実績な評価

Ĕ	分析·評価(C 評価項目	heck) ※平成24年度の実績を評価 評価観点		評価表	基準	評価	評価内容	容の説明(評価の理由等)	
		・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどう	A (2)	ニーズが高い					
1	市民ニーズ の確認	か・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズ	B (1)	ある程度のニーズ	がある	Α	伝承芸能をはじめとして 識は高い。	て文化財の保存・継承について市民の	)意
		は減少していないか	C (0)	ニーズが低い					
			A (2)	事業主体を見直す	余地はない				
2	市が実施する 必要性	<ul><li>・市が事業主体であることは妥当か</li><li>・国・県・民間の活動と競合していないか</li></ul>	B (1)	一部見直しが必要	である	Α	・伝承芸能の保存・継承 が大きく市が実施主体	承を地域で守り続けるには経済的な負 となるべき。	l担
			C (0)	市が実施する必要	性が低い				
			A (2) 目的とする成果が十分にあがっている						
3	活動内容の 有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	B (1) 目的とする成果がある程度あがっている		Α	各保存会とも伝承に努	めており、成果は十分にあがっている	٥,	
			C (0)	目的とする成果があ が必要である	がってないため大幅な見直し				
		・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託化など事業の効率化・省力化に向け実	A (2)	事業効率化・コスト約	縮減等の改善の余地はない	評価			
4	執行方法 の効率性	施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽 減する余地はないか	B (1)	事業効率化・コスト縮	減等がある程度図られている	対象	補助額は1団体45千P に向けた課題は無い。	円×5団体の定額であるためコスト縮え	咸
		・受益者負担は適正か	<b>C</b> (0)	効率化が図られてい 要である	ないため大幅な見直しが必	外			
		・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか	A (2)	効果があった					
(5)	政策面に おける効果	・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか	B (1)	ある程度効果があ	った	Α		本は県指定、1団体は市指定の重要無 の保存伝承の効果は市民全体に及ぶ	
		・市長公約の実現を図る上で有効に機能した か	<b>C</b> (0)	あまり効果が見られ	れなかった				
		合計	8	/ 8	$\rightarrow$		100点換算	100 点	
([	分析・評価で 明らかになった課題 AJ評価にするために何が 必要なのかを記入)								

# (参考) H24事業評価結果 (二次評価)

・特例期間終了を見据え、市全体のバランスを考慮し、縮小(廃止)を検討する必要がある。

### 4 今後の方向性(Action)

課題等に対する 今年度の対応状況

・伝承芸能の保存継承を地域で守り続けるため、補助を行う。

	0	維持·改善		拡大	縮小	廃止の検討	H25完了予定	
次年度の 実施方針 (担当課評価)	・伝承	芸能の保存継承を地域で	的続け	けるため、補助を行う。				
	0	維持·改善		拡大	縮小	廃止の検討	H25完了予定	ĺ

# 二次評価 (企画課·総務課·財政課評価)

・市全体のバランスを考慮し、一般予算で実施しているものと整合を図りながら、今後の支援のあり方を検討する必要がある。

事	業名	5199 ts	地域スポーツ振興事業	担当課			国府支所 地域振興課	内線 3811	
	会計       予算		一般会計	位 特		Α	合併前から実施されているイベント・行	事	
			教育費	置景	0	В	一般予算の上乗せとして実施されてい	されている事業	
算			保健体育費	位置付けの		С	終期を定めて実施する事業・単年度事	業	
	目	1 体育総務費		່"		D	その他事業		
	根拠計画	Ī	地域振興計画						
市長公約									

### 1 事業の目的・概要(Plan)

	誰を(対象)	市民	対象者数	92,097	Į.				
目的	どういう状態 にしたいのか (意図)	軽スポーツの普及に努めるとともに、親しみやすい軽スポーツなどで地口コミュニティを醸成する。	普及に努めるとともに、親しみやすい軽スポーツなどで地区住民の交流や親睦を図るこ 醸成する。						
概要	事業の 実施手法 (手段)	国府地区社会教育運営委員会が主催するスポーツ振興に対して助成す ①グランドゴルフ団体戦 ②9人制バレーボール大会 ③軽スポーツ(シ		ペタンク)など					

### 2 事業の推移・結果(Do)

H24の実績 スポーツフェスティバル開催回数 1回

			指標名	単位	目標·実績	H23	H24	H25	
	活	7±° W7-7=	-ィバル開催件数	件	目標値	1	1		1
	動指	スホージフェステ	イバル所惟什奴	14-	実績値	1	1	-	
	標	算出根拠等			達成率(%)	100	100	-	
	成日	1回半+11の余+	n <del>* **</del>	,	目標値	200	200		200
	果指	艮 1回当たりの参加者数 旨			実績値	275	276	-	
	標	算出根拠等			達成率(%)	138	138	-	
					目標値				
成					実績値			-	
成果		算出根拠等			達成率(%)			-	
面					目標値				
					実績値			-	
		算出根拠等			達成率(%)			-	
					目標値				
					実績値			-	
		算出根拠等			達成率(%)			-	
			•		目標値				
					実績値			-	
		算出根拠等			達成率(%)			-	
				44	口古语				

	事業費     H23       (人件費を除き繰越・補正を含む)     決算額						H24 決算額	H25 予算額
				歳出 (千円)	(A)	220	220	220
コス		受益	者負担(使用料	•負担金等)				
۲	<b>源</b>	源 その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
面	訳	一般	財源			220	220	220
	ت =	スト	受益者1件当た	り(円)	(A/B)	800	797	1,100
	指	標	受益者	参加者数	(B)	275	276	200

3	分析·評価(C	heck) ※平成24年度の実績を評	価				-			
	評価項目	評価観点		評価	基準	評価	評価内容	容の説明(評価の理由等)		
		・事業実施に対する市民ニーズの傾向はど	A (2)	ニーズが高い						
1	市民ニーズ の確認	か ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニー	-ズ B (1)	ある程度のニーズ	゚ゕ゙ある	Α	軽スポーツを通し、子供 ることに高いニーズがあ	もから高齢者まで幅広く交流や親睦を図 ある。		
		は減少していないか	<b>C</b> (0)	ニーズが低い						
			A (2)	事業主体を見直す	余地はない					
2	市が実施する 必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	B (1)	一部見直しが必要	<b>!である</b>	Α	・国・県・民間での実施を が実施する以外にない	を期待するが、活用できる制度がなく市 。		
			C (0)	市が実施する必要	[性が低い					
			A (2)	目的とする成果が	十分にあがっている					
3	活動内容の 有効性	<ul><li>・目的とする成果があがっているか</li><li>・成果指標などの目標値の達成状況はどう</li></ul>	B (1)	目的とする成果が	ある程度あがっている	Α	事業の活動・成果指標	は概ね達成している。		
			C (0)	目的とする成果があ が必要である	がってないため大幅な見直し					
		・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託化など事業の効率化・省力化に向け								
4	執行方法 が の効率性 ・	施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を	B (1)	事業効率化・コスト縮減等がある程度図られている		価 対 象	事業に対する助成額は ない。	対する助成額は定額であるためコスト縮減への課題は		
		減する余地はないか ・受益者負担は適正か	C (0)	効率化が図られてい 要である	ないため大幅な見直しが必	外				
		・事業の実施が市の政策、施策の推進に効があったか	効果 A (2)	効果があった						
(5)	政策面に おける効果	・総合計画及び主要計画等の目標達成を図 上で有効に機能したか	B (1)	ある程度効果があ	iot	Α		健康づくり、軽スポーツの普及など成果が表れて 対するコストは適正である。		
		・市長公約の実現を図る上で有効に機能し か	C (0)	あまり効果が見ら	れなかった					
		合計	8	/ 8	$\rightarrow$		100点換算	100 点		
(۲,	分析・評価で 明らかになった。 A」評価にするたと 必要なのかを記	果題 bに何が								
	(参考) H24事業評価約 (二次評価)									

### 4 今後の方向性(Action)

課題等に対する 今年度の対応状況

・軽スポーツを通し、子供から高齢者まで交流や親睦を深めるため、補助を行う。

	0	維持•改善		拡大		縮小	廃止の検討	H25完了予定
次年度の 実施方針 (担当課評価)	·軽ス7	ポーツを通し、子供から高値	命者まで	で交流や親睦を深めるため	、補助を	を行う。		
		維持·改善		拡大	0	縮小	廃止の検討	H25完了予定

二次評価 (企画課·総務課·財政課評価)

・特例期間終了を見据え、市全体のバランスを考慮し、縮小(廃止)を検討する必要がある。

哥	208 番枝	399	地域生活環境整備事業	担当課			国府支所 地域振興課	内線 3811					
	会計		一般会計	<sub>位</sub> 特		Α	合併前から実施されているイベント・行	事					
予	予 算 項		総務費	位別 置。 予		В	一般予算の上乗せとして実施されてい	いる事業					
箅			総務管理費	付算の	0	С	終期を定めて実施する事業・単年度事業						
	目	8	財産管理費	່"		D	その他事業						
	根拠計画		地域振興計画	地域振興計画									
	市長公約 1		市民のための行政改革を断行します。市の施設や支所の改修利用を進めるほか、遊休施設	受・土地など	の有	効活	用を行います。						

### 1 事業の目的・概要(Plan)

	誰を(対象)	市民	対象者数	92,097	人			
目的	どういう状態 にしたいのか (意図)	にしたいのか 遊休市有地を宅地化し、居住者の増加を目指す。						
概要	事業の 実施手法 (手段)	教育会館跡地及び町民体育館跡地において処分を含めた有効活用を図る。						

# 2 事業の推移・結果(Do)

		H24の実績	分庁舎 鉄筋コンクリート造2階建 車庫 鉄骨造平屋建 延床面積 旧教員住宅 木造2階建 延床面積 205.91㎡ 倉庫 鉄骨造平屋建	18.90m 115.93m	IBI	医師住宅 木造2 化財保護センター	階建 延床面積	
			指標名	単位	目標·実績	H23	H24	H25
	活動	市有建物解体撤	土抽粉	棟	目標値	0	5	0
	動指	川有廷物群体制	(五体致	134	実績値	0	5	-
	標	算出根拠等			達成率(%)		100	-
	详详	宅地造成面積		mi	目標値		0	1,642
	動指	七地坦风曲惧		""	実績値		0	-
	標	算出根拠等			達成率(%)			-
					目標値			
成					実績値			-
成果面		算出根拠等			達成率(%)			-
血					目標値			
					実績値			-
		算出根拠等			達成率(%)			-
					目標値			
					実績値			-
		算出根拠等			達成率(%)			-
					目標値			
					実績値			-
		算出根拠等			達成率(%)		·	-
				補	足事項			

		(人件費る	事業費 上除き繰越・補正を含む	·)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額
			歳出 (千円)	(A)	0	25,604	26,000
コス		者負担(使用料	•負担金等)				
۲	源 内	他特定財源(国	·県支出金・起債等)				
面		財源				25,604	26,000
	コスト	受益者1件当た	り(円)	(A/B)		276	282
	指標	受益者	市民数(4月1日)	(B)		92.861	92.097

3	<u>分析・評価(C</u> 評価項目	heck) X-	平成24年度の実績を	と音半1四		評価。	主淮	評価	11年内1	容の説明(評価	の理由等)									
	пшжп		D I IIII R/L/M		A (0)	ニーズが高い	£ <del>+</del>	ат іші	BT IM P 3 4	E O DU PJ (ET III	107年四年/									
1)	市民ニーズ	か	対する市民ニーズの傾向		A (2)	ある程度のニーズ	がある	А												
	の確認	・社会情勢の多は減少していた	を化など時の経過に伴い ないか	ハニース	C (0)	ニーズが低い														
					A (2)	事業主体を見直す	全地はない													
	市が実施する	・市が事業主体	本であることは妥当か					А												
2	必要性		B・県・民間の活動と競合していないか		B (1)	一部見直しが必要		А												
_					C (0)	市が実施する必要														
	活動内容の	・日的とする成	ロめしまえず用がたが、マンスム		. 日かしまで仕用がちがっていてか		日かしまえず用ポナゼ・マンフム		. 日めしナス代用がちがっているか		目的とする成果があがっているか		A (2)		十分にあがっている					
3	有効性		ごの目標値の達成状況に	はどうか	B (1)		ある程度あがっている	Α												
					<b>C</b> (0)	日的とする以来かめ が必要である	がってないため大幅な見直し													
		<ul><li>委託化など事</li></ul>	いで事業を実施できてい	\るか 向け実	A (2)	事業効率化・コスト	宿滅等の改善の余地はない	評価												
4	執行方法 の効率性	<ul><li>国等の補助会</li></ul>	の余地はないか 金の活用など市の財政負	負担を軽	B (1)	事業効率化・コスト縮	減等がある程度図られている	対象												
		減する余地は ・受益者負担(	ないか は適正か		<b>C</b> (0)	効率化が図られてい 要である	ないため大幅な見直しが必	外												
		・事業の実施があったか	が市の政策、施策の推進	生に効果	<b>A</b> (2)	効果があった														
⑤	政策面に おける効果	・総合計画及び 上で有効に機	国及び主要計画等の目標達成を図る に機能したか		総合計画及び主要計画等の目標達成を図る Lで有効に機能したか		<b>B</b> (1)	ある程度効果があ	った	Α										
		・市長公約の写 か	<b>実現を図る上で有効に機</b>	能化した	C (0)	あまり効果が見ら	れなかった													
	合計				8	/ 8	$\rightarrow$		100点換算		100	点								
	必要なのかを記 (参考) H24事業評価(二次評価) 今後の方向性( 課題等に対すな	結果 Action)	等により市有地を有効;	舌用するた	よめ、普通	財産の分譲宅地化	を行う。													
	7 年度の対応1	0	維持·改善		<u> </u>	拡大	縮小	<u> </u>	廃止の検		H25完了	<b>予</b> 定								
	次年度の 実施方針 (担当課評価) 町民体育館跡地は、駅周辺における							伴う投資(		·		, AC								
			維持•改善			拡大	縮小		廃止の検討	H 0	H25完了	予定								
(企	二次評価 画課·総務課·財政	文課評価)		•			,	·	,	И	•									

事	業名	746 番枝	699	地域公園管理振興事業	担当課			国府支所 地域振興課	内線 3811
	会計		1	一般会計	特 位 別		Α	合併前から実施されているイベント・行	事
予	款	款		土木費	直っ し がう弁の工术とことで入れ		一般予算の上乗せとして実施されてい	いる事業	
算	項		4	都市計画費	付算け	0	С	終期を定めて実施する事業・単年度事	業
	目		6	公園管理費	′′		D	その他事業	
	根拠詞	+画							
	市長公約			市民が幸せな家庭生活を送り、安心して暮らせる地 算枠を確保します。	域を築くため	)、地	域の	自主的なコミュニテイ活動や環境整備	事業の予

1 事業の目的・概要(Plan)

F		誰を(対象)	国府地域住民			対象者数	7,810 人
	目的	どういう状態 にしたいのか (意図)	国府のまちなかに子供たちのは	<sub>ンや</sub> ぎ声が聞こえ、	園を整備する。		
	角箔	事業の 実施手法 (手段)	トイレ設置 17 ㎡ 遊具記	置一式	外構工事 -	-式	

		H24の実績	なし					
			指標名	単位	目標·実績	H23	H24	H25
	活	整備箇所数			目標値			1
	動指	空闸固列数			実績値			-
	標	算出根拠等			達成率(%)			-
					目標値			
					実績値			-
		算出根拠等			達成率(%)			-
					目標値			
成					実績値			-
成果		算出根拠等			達成率(%)			-
面					目標値			
					実績値			-
		算出根拠等			達成率(%)			-
					目標値			
					実績値			-
		算出根拠等			達成率(%)			-
					目標値			
					実績値			-
		算出根拠等			達成率(%)			-
				補	足事項			
			·					

			(人件費を	事業費 を除き繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額		H25 予算額
				歳出 (千円)	(A)	(		0	35,800
コス		受益	者負担(使用料	•負担金等)					
۲	源内	その	他特定財源(国·	·県支出金・起債等)					
面	訳							35,800	
	تر =	<b>∼</b> 1-	受益者1件当た	り(円)	(A/B)				4,584
	指	標	受益者	国府地域住民(4月1日)	(B)				7,810

3	分析•評価(C	heck)	※平	成24年度の実績を評価								
	評価項目			評価観点		評価	<b>基準</b>	評価	評価内容	宮の説明(評価	の理由等)	
			施に対す	する市民ニーズの傾向はどう	A (2)	ニーズが高い		評価				
1	市民ニーズ の確認			となど時の経過に伴いニーズ ・	B (1)	ある程度のニーズ	がある	対象	H25新規事業			
		は減少し	ていない	,\b\	C (0)	ニーズが低い		外				
					A (2)	事業主体を見直す	余地はない	評				
2	市が実施する 必要性	・市が事: ・国・県・	業主体で 民間の決	であることは妥当か 舌動と競合していないか	B (1)	一部見直しが必要	である	価 対 象	H25新規事業			
					C (0)	市が実施する必要	性が低い	外				
					A (2)	目的とする成果が	十分にあがっている	評				
3	活動内容の 有効性	・目的とで ・成果指	する成果 標などの	lがあがっているか D目標値の達成状況はどうか	B (1)	目的とする成果が	ある程度あがっている	価 対 象	H25新規事業			
					C (0)	目的とする成果があ が必要である	がってないため大幅な見直し	外				
				で事業を実施できているか 後の効率化・省力化に向け実	A (2)	事業効率化・コスト	縮減等の改善の余地はない	評				
4	執行方法 の効率性	施手法に	改善の	余地はないか の活用など市の財政負担を軽	B (1)	事業効率化・コスト縮	滅等がある程度図られている	価 対	H25新規事業			
	1777	減する余・受益者:	地はな	いか	C (0)	効率化が図られてい 要である	ないため大幅な見直しが必	象 外				
		・事業の	実施がす	市の政策、施策の推進に効果	A (2)	効果があった		評				
⑤	政策面における効果	があった ・総合計 上で有効	画及び	主要計画等の目標達成を図る L.たか	B (1)	ある程度効果があ	not:	価対	H25新規事業			
	0017 0333	・市長公か	約の実	見を図る上で有効に機能した	C (0)	あまり効果が見ら	れなかった	象 外				
	合計				/	$\rightarrow$		100点換算	評価	対象外	点	
	明らかになった。 AJ評価にするため 必要なのかを記 (参考) H24事業評価 (二次評価)	結果										
4 :	今後の方向性(	(Action)										
	課題等に対す 今年度の対応も	<sup>-</sup> る 伏況										
				維持•改善		拡大	縮小		廃止の検討	t O	H25完了 <sup>-</sup>	予定
	次年度の 実施方針 (担当課評価)		•維持旬	<b>曽</b> 理費が必要となる。	1		1	I.	1	И		
				維持·改善		拡大	縮小		廃止の検討	1 0	H25完了 <sup>-</sup>	——— 予定
(企	二次評価 (企画課・総務課・財政課評価)			1	1		1			II		

事	313 審核	399	地域老人福祉推進事業費 (地域福祉施設備品更新事業)	担当課			国府支所 地域振興課	内線 3821
	会計	1	一般会計	特 位別		Α	合併前から実施されているイベント・行	事
予	款	3	民生費	III		В	一般予算の上乗せとして実施されてい	いる事業
算	項	1	社会福祉費	付算け		С	終期を定めて実施する事業・単年度事	業
	目	3	老人福祉費	່"	0	D	その他事業	
	根拠計画		地域振興計画					
1	市長公約	10	市民のための行政改革を断行します ・市の施設や支所の改修利用を進めるほか、遊休施	設・土地など	どの有	勃治	舌用を行います。	

### 1 事業の目的・概要(Plan)

	誰を(対象)	市民	対象者数	92,097 人						
目的	どういう状態 にしたいのか (意図)	市民の健康づくりを目的に、国府福祉センタートレーニング室の利用者の増や要望に対し、利用者に いよう器具を更新する。								
概要	事業の 実施手法 (手段) 故障したエアロバイク(1台)を廃棄し、高齢者向けで高い効果が期待できる背もたれ付エアロバイク(1式 る。									

# 2 事業の推移・結果(Do)

		H24の実績	なし
--	--	--------	----

			指標名	単位	目標·実績	H23	H24	H25	
	活	トレーニング室利	1田口物	В	目標値	255	290	290	
	動指	トレーンノ主が	шпых	1	実績値	255	291	-	
	標	算出根拠等			達成率(%)	100	100	-	
	成果	国府短处4、//2=	ートレーニング室延べ利用者	$\downarrow$	目標値	10,000	10,000	10,000	
	未 指	国内 福祉 ピンノ	170 一クク主産 でが用名	^	実績値	10,056	10,823	-	
	標	算出根拠等			達成率(%)	101	101 108		
	成果指標	60巻い トレー・	ニング室延べ利用者数	$\downarrow$	目標値	2,500 3,000		3,500	
成		00歳以上ドレー-	ーング主座へ利用有数		実績値	2,802	3,696	1	
果		算出根拠等			達成率(%)	112	123	-	
面	成		グ室利用者数(延べ利用者数/利	$\downarrow$	目標値	35	35	40	
	果指	用日数)			実績値	40	37	1	
	標	算出根拠等	前年度からの伸び率		達成率(%)	115	106	-	
					目標値				
					実績値			1	
		算出根拠等			達成率(%)			-	
					目標値				
					実績値			-	
		算出根拠等			達成率(%)		·	-	
				補	足事項				

ランニングマシーン 3台、エアロバイク 8台、その他トレーニング器具 13台

		(人件費る	事業費 ・除き繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額
			歳出(千円)	(A)	0	0	500
コス		者負担(使用料	•負担金等)				
۲	源 内	他特定財源(国	·県支出金·起債等)				
面							500
	コスト	受益者1件当た	り(円)	(A/B)	0	0	50
	指標	受益者	トレーニング室延べ利用者	(B)	10,056	10,823	10,000

3	分析・評価(C 評価項目	heck)	※平	成24年度の実績を評価評価観点		評価基	谁	評価	- □ - □ - □ - □ - □ - □ - □ - □ - □ - □	容の説明(評価の	0.抽中条)	
	PT IMPX D				A (2)	ニーズが高い	<del></del>	評	計画内容	コープロルッグ(青十1四〇	/在田寺/	
1)	市民ニーズ	か		する市民ニーズの傾向はどう	B (1)	ある程度のニーズが	 がある	価対	H25単年度新規事業			
	の確認	は減少し	かの変でいな	化など時の経過に伴いニーズ いか	C (0)	ニーズが低い		象外				
					A (2)	事業主体を見直す	余地はない	評				
2	市が実施する	・市が事業	<b>業主体</b>	であることは妥当か	B (1)	一部見直しが必要		価対	H25単年度新規事業			
0	必要性	・国・県・島	民間の	活動と競合していないか	C (0)	市が実施する必要		象外	11204 1124111111111111111111111111111111			
					A (2)		ナ分にあがっている	評				
3	活動内容の			見があがっているか	B (1)		ある程度あがっている	価対	H25単年度新規事業			
9	有効性	·成果指标	票などの	の目標値の達成状況はどうか	C (0)	目的とする成果があた	がってないため大幅な見直し	象外	1120年平汉初750年来			
		-最小限(	カコスト	で事業を実施できているか	A (2)	が必要である	減等の改善の余地はない					
<b>4</b> )	執行方法	·委託化な	び事	業の効率化・省力化に向け実 の余地はないか			戦等がある程度図られている	評 価 対	H25単年度新規事業			
4	の効率性	減する余	地はな		B (1)		はいため大幅な見直しが必	象外	P20早年及析况争未			
		・受益者が		適正か 市の政策、施策の推進に効果	C (0)	要である						
	政策面に	があった	61	市の政策、他東の推進に効果主要計画等の目標達成を図る	A (2)	効果があった		評 価 対				
(5)	おける効果	上で有効	に機能		B (1)	ある程度効果がある	まり効果が見られなかった		H25単年度新規事業			
		か			<b>C</b> (0)	あまり効果が見られ	はなかった	外				
(Γ,	分析・評価で 明らかになった。 A」評価にするため 必要なのかを記	課題 めに何が										
	(参考) H24事業評価約 (二次評価)											
4	今後の方向性(	Action)										
	課題等に対す 今年度の対応も											
				維持・改善		拡大	縮小		廃止の検討	1 0	H25完了予	定
	次年度の 実施方針 (担当課評価)	)	次年度	Eにおいて器具更新の予定はない	ハが、故[	璋が多く交換部品もな	」 ない器具を数機使用してい	る現状か	" వర్	П		
				維持·改善		拡大	縮小	T	廃止の検討	1 0	H25完了予	定
(ជំ	二次評価 (企画課·総務課·財政課評価)			1 I	1		1			<u> </u>		

	事	業名 番枝	299	食用廃油回収事業	担当課			国府支所 地域振興課	内線 3841
		会計	1	一般会計	特 位別		Α	合併前から実施されているイベント・行	事
Ŋ		款	4	衛生費	III		В	一般予算の上乗せとして実施されてい	いる事業
4	草	項	2	清掃費	付算け		С	終期を定めて実施する事業・単年度事	業
		目	2	塵芥処理費	′′ ທ	0	D	その他事業	
		根拠計画		地域振興計画					
	Ħ	市長公約		<ul><li>◎環境保全に取り組みます。</li><li>・地球温暖化の対策、生物多様性の保全活用など、 重要な問題であるため、パイオマスの利活用や間伐ます。</li></ul>					

#### 1 事業の目的・概要(Plan)

	誰を(対象)	国府地域市民	対象者数	7,810	人
目的	どういう状態 にしたいのか (意図)	・使用済み食用油を回収、精製処理シリサイクル燃料として使用することとともに、地球温暖化対策を推進する。	こにより、市民のリサイ	クル意識の向上を	<b>図る</b>
概要	事業の 実施手法 (手段)	・一般家庭より排出される食用廃油を月1回、6箇所の拠点集積所におい は、朝日支所の処理施設で精製し支所の公用車の燃料(BDF)として活用		-食用廃油について	

### 2 事業の推移・結果(Do)

・国府地内の拠点集積所(6箇所)には、食用廃油回収の啓発表示板を設置し廃油回収の推進に努めている。 H24の実績

			指標名	単位	目標·実績	H23	H24	H25
	活		10 lik-U	十四	目標値	600	600	600
	動	使用済み食用油	の回収量	L	実績値	438	376	-
	指標	算出根拠等	月1回×12ケ月分の改修量		達成率(%)	73	63	_
	成				目標値	300	300	300
	果指	精製したBDFの	使用量	L	実績値	300	380	-
	標	算出根拠等	国府支所の公用車(BDF)1台の年間	使用量	達成率(%)	100	127	-
					目標値			
成					実績値			-
成果		算出根拠等			達成率(%)			1
面					目標値			
					実績値			-
		算出根拠等			達成率(%)			-
					目標値			
					実績値			-
		算出根拠等			達成率(%)			-
					目標値			
					実績値			-
		算出根拠等			達成率(%)			-

		(人件費を	事業費 上除き繰越・補正を含む)	)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額
			歳出 (千円)	(A)	67	73	100
コス		者負担(使用料	•負担金等)				
۲	源 内	)他特定財源(国·	·県支出金·起債等)				
面		財源			67	73	100
	コスト				8	9	13
	指標	受益者	国府地域市民数	(B)	7,892	7,845	7,810

3	分析·評価(C		を評価									
	評価項目	評価観点			評価	基準	評価	評価内容	容の説明(評価の理由等)			
		・事業実施に対する市民ニーズの傾向	可はどう	<b>A</b> (2)	ニーズが高い							
1	市民ニーズ の確認	か ・社会情勢の変化など時の経過に伴し は減少していないか	ハニーズ	B (1)	ある程度のニーズ	がある	С	・精製したBDFは、特定 用方法の検討が必要で	の公用車に限定されており、多面的な きある。			
		は減少していないか		C (0)	ニーズが低い							
			А		事業主体を見直す	余地はない		÷.1.= 1801.0.12.12.				
2	市が実施する 必要性	<ul><li>・市が事業主体であることは妥当か</li><li>・国・県・民間の活動と競合していない</li></ul>	か	B (1)	一部見直しが必要	である	Α		駆けた事業であり、他との競合はない。 Cいるため全市的な取り組みが必要で			
				C (0)	市が実施する必要	性が低い		0.				
				A (2) 目的とする成果が十分にあがっている								
3	活動内容の 有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況に	よどうか	B (1)	目的とする成果が	ある程度あがっている	В		るが、地球温暖化対策及び環境保全する意識の向上には概ね効果がある。			
				<b>C</b> (0)	目的とする成果があ が必要である	がってないため大幅な見直し						
		・最小限のコストで事業を実施できてい ・委託化など事業の効率化・省力化に						事業効率化・コスト	縮減等の改善の余地はない			
4	執行方法 の効率性	施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負		B (1)	B (i) 事業効率化・コスト縮減等がある程度図られている		Α		域に先駆けた事業のため比較はできた 負担額は約8円/人~13円/人であり概			
		減する余地はないか ・受益者負担は適正か		C (0)	効率化が図られてい 要である	ないため大幅な見直しが必		14地正と心1710の。				
		・事業の実施が市の政策、施策の推進があったか	進に効果	A (2)	効果があった			・地球温暖化対策 生物	物多様性の保存活動など、環境保全は			
⑤	政策面に おける効果	・総合計画及び主要計画等の目標達 上で有効に機能したか			ある程度効果があった		Α	今を生きている人々がI あり、当事業を推進する	取り組まなければならない重要な問題。 ことで市民のリサイクル意識の向上、			
		・市長公約の実現を図る上で有効に機 か	<b>態能した</b>	C (0)	あまり効果が見ら	あまり効果が見られなかった		然環境の保全が図られ、市長の約束に対し機能している。				
		숌計		7	/ 10	$\rightarrow$		100点換算	70 点			
([,	分析・評価で 明らかになった。 A」評価にするため 必要なのかを記	課題 かに何が ・食用廃油の回収量及びBD	F対応車だ	が減少して	「おり、回収及び使	用方法について多面的な取	り組みの	検討が必要である。				
	(参考) H24事業評価約 (二次評価)		面、精製処	理した油	の需要等を比較し、	全市的に事業の実施方針	・規模に	ついて検討する必要があ	<b>.</b>			

### 4 今後の方向性(Action)

課題等に対する 今年度の対応状況

・国府町内の食用廃油の回収量実績は、平成21年度が609L、平成22年度が419L、平成23年度が438L、平成24年度が376Lと減少であるため、回収量増加を目指し市 民への啓発活動を行う。

縮小

廃止の検討

H25完了予定

	0	維持・改善		拡大		縮小	廃止の検討	H25完了予定
次年度の 実施方針 (担当課評価)	·地球	温暖化防止対策や環境保	全に対し	した事業であり、引続き事業	継続す	rā.		

二次評価 (企画課·総務課·財政課評価)

維持·改善

・環境に対する効果、コスト面、精製処理した油の需要等を比較し、全市的に事業の実施規模・方針について検討する必要がある。

拡大

事	72:	299	- 巾下急傾斜地環境保全事業	担当課			国府支所 地域振興課	内線 3841
	J.		一般会計	位特		Α	合併前から実施されているイベント・行	事
			土木費	位別 置予		В	一般予算の上乗せとして実施されてい	る事業
算			道路橋りょう費	付算		С	終期を定めて実施する事業・単年度事	業
	目	2	道路橋りょう維持費	′′ ທ	0	D	その他事業	
	根拠計画		地域振興計画					
1	市長公約							

### 1 事業の目的・概要(Plan)

	誰を(対象)	宇津江2区、3区に居住する世帯	対象者数	232 世帯
目的		・ 中下急傾斜地の下には、市道中下1号線が並行し付近には市営宇津 び環境保全や書虫駆除を図る目的である。	□団地が近接するため	の、道路の維持管理及
概要		<ul><li>・市下急傾斜地の崩壊を防止するため法枠工法によってコンクリート施工の延長が長いことから草刈りの経験豊富な業者に作業を委託する。</li></ul>	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	、斜面が急でかつ法面

### 2 事業の推移・結果(Do)

H24の実績 ・高山市で行う8月の河川一斉清掃に併せ法面約13,000㎡の草刈りを実施
---

			指標名	単位	目標·実績	H23	H24	H25
	活				目標値	1	1	1
	動指	草刈り回数		□	実績値	1	1	-
	標	算出根拠等			達成率(%)	100	100	-
	活動	草刈り面積		mi	目標値	13,000	13,000	13,000
	期 指	早月7回復		=	実績値	13,000	13,000	-
	標	算出根拠等			達成率(%)	100	100	-
					目標値			
成果					実績値			-
果面		算出根拠等			達成率(%)			-
田					目標値			
					実績値			-
		算出根拠等			達成率(%)			-
					目標値			
					実績値			-
		算出根拠等			達成率(%)			-
					目標値			
					実績値			-
		算出根拠等			達成率(%)			-

		(人件費を	事業費 を除き繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額
			歳出 (千円)	(A)	389	383	400
コス		者負担(使用料·	•負担金等)				
۲	源 内	)他特定財源(国・	·県支出金·起債等)				
面		財源			389	383	400
	コスト	受益者1件当た	り(円)	(A/B)	1,677	1,644	1,724
	指標	受益者	宇津江2・3区の戸数(4月1日)	見在) (B)	232	233	232

#### 2 公析·訶価(Cheek) ※平成24年度の実績な評価

3	分析·評価(C	heck) ※平成24年度の実績を 評価観点	評価		== t <del>=</del>	H-24-	-m /m	57 /T 1		
	評価項目	評恤観点			評価	<u></u>	評価	評価内容	容の説明(評価の理由等)	
		・事業実施に対する市民ニーズの傾向は	まどう	<b>A</b> (2)	ニーズが高い					
1	市民ニーズ の確認	か ・社会情勢の変化など時の経過に伴い=	ニーズ	B (1)	ある程度のニーズ	がある	Α	・地域の景観や環境美 ニーズは高い。	化保全の推進や害虫駆除となり市民の	
		は減少していないか		<b>C</b> (0)	ニーズが低い					
				A (2)	事業主体を見直す	余地はない				
2	市が実施する 必要性	<ul><li>・市が事業主体であることは妥当か</li><li>・国・県・民間の活動と競合していないか</li></ul>	`	B (1)	一部見直しが必要	である	С	・急傾斜地の管理者はを強く行う。	岐阜県であるため、県に対し実施の要	
				C (0)	市が実施する必要	性が低い				
				A (2)	目的とする成果が	十分にあがっている				
3	活動内容の 有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はと	どうか	B (1)	目的とする成果が	ある程度あがっている	Α	<ul><li>・年1回の草刈り業務であるが、地域からは景観や環境美化の 全、害虫駆除に対して評価は高い。</li></ul>		
				C (0)	目的とする成果があ が必要である	がってないため大幅な見直し				
	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託化など事業の効率化・省力化に向け実 施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽			A (2)	A (2) 事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない			4 FAUL - 0 # .011		
4				B (1)	(1) 事業効率化・コスト縮減等がある程度図られている		Α	1,700円/戸前後であり、	作業であり、1戸当たりの負担額は約 、1㎡当たりのコストも約30円/㎡程度で 草刈りと同等であり適正である。	
		減する余地はないか ・受益者負担は適正か		C (0)	効率化が図られてい 要である	ないため大幅な見直しが必		めることがらずがすり	Fがりと同事でのグ心正でので。	
		・事業の実施が市の政策、施策の推進に	こ効果	A (2)	効果があった					
(5)	政策面に おける効果	・総合計画及び主要計画等の目標達成る 上で有効に機能したか			ある程度効果があ	iot:	В	・市の総合計画の目標達成市長公約には掲げられていない 地域の景観や環境美化保全の推進、害虫駆除の効果があ		
		・市長公約の実現を図る上で有効に機能 か	能した	C (0)	あまり効果が見ら	れなかった				
		合計	7	7	/ 10	$\rightarrow$		100点換算	70 点	
(۲٫	分析・評価で 明らかになった。 A」評価にするため 必要なのかを記	課題・地域振興特別予算で業務を写 かに何が対応も検討する。	実施してい	ているが、予算措置期間の終了を見据え、急傾斜地の管理者である岐阜県へ要望する。また、県の動向によっては一般予						
	(参考) H24事業評価額 (二次評価)		害虫駆除	余対策の事業であり、引き続き事業継続する。なお、所管である県古川土木事務所に対して事業実施の要望を行う。						

### 4 今後の方向性(Action)

課題等に対する 今年度の対応状況

・今年度も高山市の河川一斉清掃に併せ草刈り事業を発注する。 ・所管である県に対し年1回の草刈り業務の実施を要望する。

	0	維持·改善		拡大		縮小		廃止の検討		H25完了予定
次年度の 実施方針 (担当課評価)	•景観》	及び環境保全の推進、害虫	な駆除文	対策の事業であり、引き続き	事業組	<b>終続する。なお、</b> 所管である	県古川	土木事務所に対して事業の	実施の弱	要望を行う。

縮小

廃止の検討

H25完了予定

	二次計	平価	
企画課・	総務課	·財政	課評価)

0

維持·改善

・所管である県古川土木事務所が管理すべき施設であり、特例期間終了後は県で実施してもらうよう要望する必要がある。

拡大

事	事業名		99	地域中学校管理事業	担当課			国府支所 地域振興課	内線 3811
	会計 1 一般会計			一般会計	特 位別		Α	合併前から実施されているイベント・行	事
予	予     款     9     教育費       算     項     3     中学校費		므로		В	一般予算の上乗せとして実施されている			
算			3	中学校費	付算の		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	
	目		1	学校管理費	′′ ທ	0	D	その他事業	
	根拠討	+画		地域振興計画					
市長公約 1		10	市民のための行政改革を断行します。 市の施設や支所の改修利用を進めるほか、遊休施語	役・土地など	の有	効活	用を行います。		

### 1 事業の目的・概要(Plan)

	誰を(対象)	国府中学校生徒	対象者数	256	人				
目的	どういう状態 にしたいのか (意図)	旧給食センターとして借用していた土地を返還し、学校で必要な通路部	分を取得する。						
概要	事業の 実施手法 (手段)	·必要土地確定 ·現地測量 ·不要施設撤去、土地造成、土地取得	地測量						

### 2 事業の推移・結果(Do)

算出根拠等

算出根拠等

算出根拠等

			給食配膳室改装工事 一式、給食配 0.15ha、 水路工 L=46m、	記膳室搬力	人路新設工事	一式、注油口移訂	<b>设工事</b> 一式、農均	也造成工 A=
			指標名	単位	目標·実績	H23	H24	H25
	活	不要施設撤去数	i	棟	目標値		1	
	動指	个安旭政献云第	4	保	実績値		1	-
	標	算出根拠等			達成率(%)		100	-
					目標値			
					実績値			-
		算出根拠等			達成率(%)			-
					目標値			
成					実績値			-
成果		算出根拠等			達成率(%)			-
面					目標値			

実績値

達成率(%) 目標値 実績値

達成率(%) 目標値 実績値

達成率(%)

			(人件費を	事業費 - 除き繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額
				歳出 (千円)	(A)	0	26,563	4,000
コス		受益	者負担(使用料・	負担金等)				
۲	源内							
面		一般	財源				26,563	4,000
	٦2	\ I-	受益者1件当た	り(円)	(A/B)		107,980	15,625
	指	標	受益者	国府中学校生徒数(4月1日)	(B)		246	256

3	分析·評価(C	heck)	※平原	成24年度の実績で	を評価		== /m-	·····		======	·	am t the	
	評価項目			評価観点			評価:	基準	評価	評価内	容の説明(評価	面の理由等)	
	市民ニーズ	・事業実施	施に対す	る市民ニーズの傾向	はどう	A (2)	ニーズが高い				·		
1	の確認	・社会情報 は減少し		など時の経過に伴し いか	ヽニーズ	B (1)	ある程度のニーズ	. かある	Α	中学校敷地の確保事業	<b>೯であるので</b> 二	一スは高い。	
						C (0)	ニーズが低い						
	市が実施する	<ul><li>・市が事業</li></ul>	業主体で	あることは妥当か		A (2)	事業主体を見直す						
2	必要性			動と競合していない	か	B (1)	一部見直しが必要		Α	中学校敷地の確保事業であるため、市が実施主体となる			<b>;</b> る。
						C (0)	市が実施する必要						
	活動内容の	. 日的 La	トス ct 田・	があがっているか		A (2)		・十分にあがっている					
3	有効性			日標値の達成状況は	はどうか	B (1)		ある程度あがっている	Α	H24年度にてほぼ敷地	也の取得を行っ	ot=.	
						C (0)	目的とする成果があ が必要である	がってないため大幅な見直し					
	** <= -* >*	·委託化力	など事業	で事業を実施できていの効率化・省力化に		A (2)	事業効率化・コスト	縮減等の改善の余地はない					
4	執行方法 の効率性		補助金の	余地はないか )活用など市の財政負 いか	負担を軽	B (1)		減等がある程度図られている	Α	必要面積の取得を行う。			
		・受益者				C (0)	効率化が図られてい 要である	ないため大幅な見直しが必					
	おける効果   上で有効に腹能したか			<b>A</b> (2)	効果があった			中学校敷地の確保であるので効果があった。					
⑤				B (1)	ある程度効果があ	iote	Α						
	・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか		EREC/C	C (0)	あまり効果が見ら	れなかった			_				
	合計					10	/ 10	$\longrightarrow$		100点換算		100	点
(1)	分析・評価で 明らかになった。 A」評価にするため 必要なのかを記 のである。 (参考) H24事業評価 (二次評価)	課題がに何がき入り											
4	- 今後の方向性(	(Action)											
	4 今後の方向性(Action) 課題等に対する 今年度の対応状況												
				維持·改善			拡大	縮小		廃止の検討	t O	H25完了	予定
	次年度の 実施方針 (担当課評価)				I	I				1	, I	1	
				維持·改善			拡大	縮小		廃止の検討	H O	H25完了	予定
(企	二次評価 (企画課·総務課·財政課評価)					l		1		1	II		

1	事業名 番枝	699	地域文化振興事業補助金	担当課			国府支所 地域振興課	内線 3811
会計 1 一般会計			<sub>位</sub> 特		Α	合併前から実施されているイベント・行	事	
	予款		教育費	位別 置予		В	一般予算の上乗せとして実施されてい	いる事業
算	項	4	社会教育費	一付算け	0	С	終期を定めて実施する事業・単年度事	業
	目	6	文化振興費	່"		D	その他事業	
	根拠計画		地域振興計画					
	市長公約		伝統文化を守り次世代へ継承します。 心の中や生活に潤いと豊かさを醸し出し、生きがいい らに浸透させ広げていく。	や、若者の社	:会参	加へ	のやる気づくりにもつながる芸術文化	活動をさ

#### 1 事業の目的・概要(Plan)

	誰を(対象)	市民	対象者数	92,097 人
目的	どういう状態 にしたいのか (意図)	優れた芸術文化にふれる機会の充実を図る。		
概要	事業の 実施手法 (手段)	コンサート、講演会に対する助成。		

### 2 事業の推移・結果(Do)

H24の実績	補助金額	1,700,000円

		<b>指</b> 煙名	単位	日標·宝績	H23	H24	H25	
活		TO IN CO.			1	1	1120	1
動	補助件数		件	実績値	1	1	-	
哲標	算出根拠等			達成率(%)	100	100	-	
成	1 E W 4 U 0 HI	>*L	ı	目標値	600	600		600
果指	「凹当たりの観名	<b>≨ 叙</b>	^	実績値	581	409	-	
標	算出根拠等			達成率(%)	97	68	-	
				目標値				
			実績値			-		
	算出根拠等			達成率(%)			-	
				目標値				
				実績値			-	
	算出根拠等			達成率(%)			-	
				目標値				
				実績値			-	
	算出根拠等			達成率(%)			-	
							-	
	算出根拠等						-	
	指標 成果指	動制権助件数 第出根拠等 1回当たりの観名 第出根拠等 第出根拠等 第出根拠等	動	活動 補助件数 件 類出根拠等	活動	括	活動	括

		(人件費を	事未复 と除き繰越・補正を含む	)	決算額	決算額	予算額
			歳出 (千円)	(A)	2,500	1,400	2,000
コス		者負担(使用料・	•負担金等)				
۲	源 その	他特定財源(国・	·県支出金·起債等)				
面	訳一般	財源			2,500	1,400	2,000
	-1×1.	受益者1件当た	り(円)	(A/B)	27	15	22
	指標	受益者	市民数(4月1日)	(B)	93,312	92,861	92,097

3	分析·評価(C	heck) ※平成24年度の実績を	·評価									
	評価項目	評価観点			評価	基準	評価	評価内容	容の説明(評価の理由等)			
		・事業実施に対する市民ニーズの傾向	はどう	<b>A</b> (2)	ニーズが高い							
1	市民ニーズ の確認	か ・社会情勢の変化など時の経過に伴い	ニーズ	B (1)	ある程度のニーズ	がある	Α	身近な施設で優れた芸 は年々高まっている。	術文化にふれたいという市民の二	ニーズ		
		は減少していないか		C (0)	ニーズが低い							
				A (2)	事業主体を見直す	余地はない						
2	市が実施する 必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していない。	か	B (1)	一部見直しが必要	<b>!である</b>	Α	・国・県・民間での実施を 市が実施する以外にな	を期待するが、活用できる制度が い。	少なく、		
				C (0)	市が実施する必要	[性が低い						
				A (2)	目的とする成果が	十分にあがっている						
3	活動内容の 有効性 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		はどうか	<b>B</b> (1)	目的とする成果が	ある程度あがっている	Α	事業の活動・成果指標	は概ね達成している。			
				C (0)	目的とする成果があ が必要である	がってないため大幅な見直し						
		・最小限のコストで事業を実施できてい・委託化など事業の効率化・省力化に		<b>A</b> (2)	事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない		評価	地域大小框图末来。				
4	執行方法 の効率性		担を軽	B (1)			対象	地域文化振興事業への 課題はない。	D助成は定額であるためコスト縮源	太への		
		・受益者負担は適正か		C (0)	効率化が図られてい 要である	ないため大幅な見直しが必	外					
		・事業の実施が市の政策、施策の推進があったか	) 夏及び主要計画等の目標達成を図る こ機能したか				効果があった					
⑤	政策面に おける効果	・総合計画及び主要計画等の目標達成上で有効に機能したか			B (i) ある程度効果があった		Α	市民への芸術文化活動の浸透には効果があった。				
		・市長公約の実現を図る上で有効に機 か	REC/C	C (0)	あまり効果が見ら	れなかった						
		合計		8	/ 8	$\rightarrow$		100点換算	100	点		
(Г,	分析・評価で 明らかになった。 A」評価にするため 必要なのかを記	果題 blc何が										
	(参考) H24事業評価編 (二次評価)	・特例期間終了を見据え、市 ・文化芸術鑑賞事業との関係										

### 4 今後の方向性(Action)

課題等に対する 今年度の対応状況

・社会教育運営委員会が実施する芸術文化活動事業に対する補助を行う。

	0	維持•改善		拡大		縮小	廃止の検討	H25完了予定
次年度の 実施方針 (担当課評価)	•身近/	な施設で優れた芸術文化に	ニ触れた	こいという市民ニーズに応え	えるため	継続の必要がある。		
		維持·改善		拡大	0	縮小	廃止の検討	H25完了予定

二次評価 (企画課・総務課・財政課評価)・特例期間終了を見据え、市全体のパランスを考慮し、縮小(廃止)を検討する必要がある。 ・文化芸術鑑賞事業との関係の整理、実績や効果の検証を行う必要がある。

事	94 <sup>2</sup> 番枝	799	文化財標柱設置事業	担当課			国府支所 地域振興課	内線 3811
	会計	1	一般会計	位別		Α	合併前から実施されているイベント・行	事
予	款	9	教育費	置껯		В	一般予算の上乗せとして実施されてい	いる事業
算	9 項目		社会教育	付算ける	0	С	終期を定めて実施する事業・単年度事	業
			文化財費	′′		D	その他事業	
	根拠計画							
市長公約 9 伝統文化を守り、次世代へ継承します。国内外から訪れる多くの観光客に名所のパンフレット、説明看板等の整備や、人と人との繋がりを大切にする語り部の					名所旧跡、文化伝統を解りやす〈紹介 部の育成に取り組みます。	するため		

1 事業の目的・概要(Plan)

	誰を(対象)	国府地域市民	対象者数	7,810 人
目的	どういう状態 にしたいのか (意図)	指定文化財について、広く市民に周知するために標柱を設置する。		
概要	事業の 実施手法 (手段)	文化財課周知説明版設置基準により標柱を設置する。		

2 事業の推移・結果(Do)

		<b>H24の実績</b> なし					
		 指標名	単位	目標·実績	H23	H24	H25
	成	文化財標柱設置本数	筒所	目標値			3
	果指	X 化射棕性 故	固別	実績値			-
	標	算出根拠等		達成率(%)			-
				目標値			
				実績値			-
		算出根拠等		達成率(%)			-
				目標値			
成		_		実績値			-
成果面		算出根拠等		達成率(%)			-
囲				目標値			
		_		実績値			-
		算出根拠等		達成率(%)			-
				目標値			
		_		実績値			-
		算出根拠等		達成率(%)			-
				目標値			
				実績値			-
		算出根拠等		達成率(%)			-
			神	足事項			

			(人件費	事業費 ・除き繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額
				歳出(千円)	(A)	C		0 600
コス	財	受益	益者負担(使用料	•負担金等)				
۲	源内	その	)他特定財源(国	·県支出金·起債等)				
面	訳	— 舟	设財源					600
		スト						77
	指	標 受益者 国府地域市民数(4月1日)		(B)			7,810	

3	分析·評価(C	heck)	※平成24年度の実績を	:評価										
	評価項目		評価観点			評価	基準	評価	評価内容	序の説明(評価	の理由等)			
			施に対する市民ニーズの傾向	はどう	A (2)	ニーズが高い		評価						
1	市民ニーズ の確認		勢の変化など時の経過に伴い ていないか	ニーズ	B (1)	ある程度のニーズ	がある	対象	H25新規事業					
		は減少し	C6./26.///		<b>C</b> (0)	ニーズが低い		外						
					A (2)	事業主体を見直す	余地はない	評価						
2	市が実施する 必要性		業主体であることは妥当か 民間の活動と競合していない。	か	B (1)	一部見直しが必要	である	対象	H25新規事業					
					<b>C</b> (0)	市が実施する必要	性が低い	外						
					A (2)	目的とする成果が	十分にあがっている	評価						
3	活動内容の 有効性		rる成果があがっているか 漂などの目標値の達成状況は	はどうか	B (1)		ある程度あがっている	対象	H25新規事業					
					C (0)	目的とする成果があ が必要である	がってないため大幅な見直し	外						
		·委託化7	のコストで事業を実施できてい など事業の効率化・省力化に「		A (2)	事業効率化・コスト	縮減等の改善の余地はない	評価						
4	執行方法 の効率性	<ul><li>国等の</li></ul>	改善の余地はないか 補助金の活用など市の財政負 地はないか	担を軽	B (1)	事業効率化・コスト縮	滅等がある程度図られている	対象	H25新規事業					
			担は適正か		<b>C</b> (0)	効率化が図られてい 要である	ないため大幅な見直しが必	外						
		があった	実施が市の政策、施策の推進 か		A (2)	効果があった		評 · 価						
(5)	政策面に おける効果	上で有効	画及び主要計画等の目標達成 に機能したか		B (1) ある程度効果があった			対象	H25新規事業					
		か	約の実現を図る上で有効に機	HEC/S	C (0)	あまり効果が見ら;	れなかった	外						
	合計					/	$\rightarrow$		100点換算	評価	対象外	点		
( [ ]	明らかになった。 A]評価にするため 必要なのかを記 (参考) H24事業評価 (二次評価)	おに何が (3人)												
4 :	今後の方向性(	Action)												
	課題等に対す 今年度の対応も	- る 犬況												
			維持·改善			拡大	縮小		廃止の検討	· O	H25完了	予定		
	次年度の 実施方針 (担当課評価)			,				<u> </u>	'	Н				
			維持·改善			拡大	縮小		廃止の検討	0	H25完了	予定		
(企	二次評価 (企画課·総務課·財政課評価)	二次評価 企画課·総務課·財政課評価)	二次評価 企画課·総務課·財政課評価)											

事	業名	209番枝	999	地域振興助成事業	担当課			国府支所 地域振興課	内線 3811		
	会	H	1	一般会計	特 位別		Α	合併前から実施されているイベント・行	·事		
予	款		2	総務費	므로		В	一般予算の上乗せとして実施されてい	る事業		
算	算 目		1	総務管理費	付算	0	С	終期を定めて実施する事業・単年度事業			
			9	企画費	່"		D	その他事業			
	根拠詞	計画		地域振興計画							
市長公約 個人・家庭・地域を大切にする社会を築きます。 市民が幸せな家庭生活を送り、安心して暮らせる地域を築くため、地域の自主的なコミ 算枠を確保します。						自主的なコミュニティ活動や環境整備事	4業の予				

#### 1 事業の目的・概要(Plan)

	誰を(対象)	国府地域市民	対象者数	2,443	戸
目的	どういう状態 にしたいのか (意図)	地域住民の創意とエ夫による魅力ある地域づくりを推進するため、市民 支援する。	自らが主体となって取	り組む地域振興事	業を
概要	事業の 実施手法 (手段)	地域の住民が自主的、主体的に取り組む公共性の高い地域づくり事業・	への補助		

### 2 事業の推移・結果(Do)

4の実績	申請件数15件	補助金額	3.067.752円

			指標名	単位	目標·実績	H23	H24	H25	
	活	補助金交付件数	i	件	目標値	17	15		15
	動指	福助亚义的什么	<b>,</b>	17	実績値	22	15	-	
	標	算出根拠等			達成率(%)	129	100	-	
	成	実施団体数		組	目標値	12	15		15
	果指	<b>天旭凹体</b> 数		和田	実績値	12	15	-	
	標	算出根拠等			達成率(%)	100	100	-	
					目標値				
成					実績値			-	
成果		算出根拠等			達成率(%)			-	
面					目標値				
					実績値			-	
		算出根拠等			達成率(%)			-	
					目標値				
					実績値			-	
		算出根拠等			達成率(%)			-	
					目標値				
					実績値			-	
		算出根拠等			達成率(%)			-	
				44	口古语				

#### 補足事項

	<u> </u>							
			(人件費を	事業費 を除き繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額
				歳出 (千円)	(A)	3,067	3,363	3,000
コス		受益	者負担(使用料	•負担金等)				
F	源内	その	他特定財源(国·	·県支出金·起債等)				
面	訳	一般	財源			3,067	3,363	3,000
	コスト		受益者1件当た	り(円)	(A/B)	1,279	1,391	1,228
	指	標				2,398	2,417	2,443

#### 3 分析・評価(Check) ※平成24年度の実績を評価

3	分析·評価(C	heck) ※平成24年度の美績を評価								
	評価項目	評価観点		評価	基準	評価	評価内容	容の説明(評価の理由等)		
		・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどう	A (2)	ニーズが高い						
1	市民ニーズ の確認	か ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズ	B (1)	ある程度のニーズ	がある	Α	・住民が自主的、主体的 行おうとするニーズが高	りに地域の公共性の高い施設の整備を い		
		は減少していないか	C (0)	ニーズが低い						
			A (2)	事業主体を見直す	余地はない		W.D O O. + . //	. <del> </del>		
2	市が実施する 必要性	<ul><li>・市が事業主体であることは妥当か</li><li>・国・県・民間の活動と競合していないか</li></ul>	B (1)	一部見直しが必要	である	Α		、主体的に取組む公共性の高い地域づく いるので、事業主体は市である必要があ		
			C (0)	市が実施する必要	性が低い		<b>3</b> 0			
			A ② 目的とする成果が十分にあがっている			要望件数に対し助成は100%行われている。				
3	活動内容の 有効性			B (1) 目的とする成果がある程度あがっている					Α	
			C (0)	目的とする成果があ が必要である	がってないため大幅な見直し					
		・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託化など事業の効率化・省力化に向け実	A (2)	事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない			. 地域在足线点主的后	마십시호푸드십 스프라 방휴소년		
4	執行方法 の効率性	施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽	B (1)	事業効率化・コスト縮減等がある程度図られている		Α		こ取組む事業に対し、必要材料費等の補 きあるので、最小限のコストで事業を実施し		
		減する余地はないか ・受益者負担は適正か	C (0)	効率化が図られてい 要である	ないため大幅な見直しが必		41 30			
		・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか	A (2)	効果があった						
(5)	政策面に おける効果	・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る 上で有効に機能したか	B (1)	ある程度効果があ	っった	Α	・安心して暮らせる地域	づくりに効果がある。		
	・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか		C (0)	あまり効果が見ら	れなかった					
		승함	10	/ 10	$\rightarrow$	_	100点換算	100 点		
	分析・評価で				•		•	•		

#### 分析・評価で 明らかになった課題 (「A」評価にするために何が 必要なのかを記入)

(参考) H24事業評価結果 (二次評価)

平成26年度を終期としている事業であり、執行内容を精査し、27年度以降の対応について検討する必要がある。

### 4 今後の方向性(Action)

課題等に対する 今年度の対応状況

・前年度に引き続き、地域の住民が自主的、主体的に取組む公共性の高い事業へ補助を行う。

	0	維持·改善		拡大		縮小		廃止の検討	H25完了予定
次年度の 実施方針 (担当課評価)	・地域(	住民が自主的、主体的に取	双組む公	公共性の高い事業への補助	制度は	:維持継続する必要がある	•		

縮小

廃止の検討

H25完了予定

二次評価 (企画課·総務課·財政課評価) 0

維持·改善

・平成26年度を終期としている事業であり、執行内容を精査し、平成27年度以降の対応を検討する必要がある。

拡大

	事業名	999	地域要望対応事業	担当課			国府支所 地域振興課	内線 3811					
Г	会計	1	一般会計 A				合併前から実施されているイベント・行	事					
7		2	1 一般会計 2 総務費 1 総務管理費 1 総務管理費 (力算)				一般予算の上乗せとして実施されている事業						
第	算 項		総務管理費	付算	0	С	終期を定めて実施する事業・単年度事	事業					
	目	9	9 企画費 D その他事業										
Г	根拠計画		地域振興計画										
	市長公約		個人・家庭・地域を大切にする社会を築きます。 ・市民が幸せな家庭生活を送り、安心して暮らせる地 予算枠を確保します。	は域を築くたる	め、地	域σ	D自主的なコミュニティ活動や環境整備	事業の					

#### 1 事業の目的・概要(Plan)

	誰を(対象)	国府地域市民	対象者数	2,443 戸
目的	どういう状態 にしたいのか (意図)	市有施設で地域からの修繕要望に即応する。		
概要	事業の 実施手法 (手段)	市道、農道、水路等の公共施設の軽微な修繕。		

### 2 事業の推移・結果(Do)

H24の実績	申請件数	18件	実施事業費	9.828.840円
112 100 )(196	.1 111111300	.011	スルテネス	0,020,01011

							ı		
			指標名	単位	目標·実績	H23	H24	H25	
	成	実施修繕個所数	,	件	目標値	22	23		23
	果指	<b>关肥廖褶旧</b> ற 90	(	17	実績値	22	18	-	
	標	算出根拠等			達成率(%)	100	78	-	
				件	目標値				
				17	実績値			-	
		算出根拠等			達成率(%)			-	
					目標値				
成					実績値			-	
成果面		算出根拠等			達成率(%)			-	
血					目標値				
					実績値			-	
		算出根拠等			達成率(%)			-	
					目標値				
					実績値			-	
		算出根拠等			達成率(%)			-	
					目標値				
					実績値			-	
		算出根拠等			達成率(%)			-	
				1.0	C struck				

補足事項	Į
------	---

			(人件費を	事業費 - 除き繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	
	歳出(千円) (A)					13,382	9,829	20,000	
コス		受益	者負担(使用料・	負担金等)					
۴	源内	その他特定財源(国・県支出金・起債等)							
面		一般財源				13,382	9,829	20,000	
	コス	スト 受益者1件当たり(円) (A/			(A/B)	5,580	4,067	8,187	
	指標 受益者 国府地域世帯数(4月1日)		(B)	2,398	2,417	2,443			

#### 3 分析・評価(Check) ※平成24年度の実績を評価

	評価項目	評価観点		評価。	<b>基準</b>	評価	評価内容	容の説明(評価の理由等)			
		・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどう	A (2)	ニーズが高い							
1	市民ニーズの確認	か・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズ	B (1)	ある程度のニーズ	がある	Α	経年による老朽化した施設が多く、修繕に対する市民のニー は多い。				
		は減少していないか	C (0)	ニーズが低い							
			A (2)	事業主体を見直す	余地はない						
2	市が実施する 必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか		一部見直しが必要	である	Α	・公共施設の軽微な施設修繕を行う事業であり、市が事業主 となることは妥当。				
			C (0)	市が実施する必要	性が低い						
			A (2)	目的とする成果が	十分にあがっている						
3	活動内容の 有効性	<ul><li>・目的とする成果があがっているか</li><li>・成果指標などの目標値の達成状況はどうか</li></ul>	B (1)	目的とする成果が	ある程度あがっている	Α	・公共性の高い施設修	繕を行うことで効果は市民全体に及ぶ			
			C (0)	目的とする成果があ が必要である	がってないため大幅な見直し						
		・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託化など事業の効率化・省力化に向け実	A (2)	事業効率化・コスト	宿滅等の改善の余地はない						
4	の効率性	施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽	B (1)	事業効率化・コスト縮	滅等がある程度図られている	Α	・工事施工にあたっては	ってはコスト縮減に努めている。			
		減する余地はないか ・受益者負担は適正か	C (0)	効率化が図られてい 要である	ないため大幅な見直しが必						
		・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか	A (2)	効果があった							
⑤	政策面に おける効果	・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る		ある程度効果があ	った	Α	・安全、安心して暮らせる地域づくりに効果があった。				
		・市長公約の実現を図る上で有効に機能した か	C (0)	あまり効果が見られ	れなかった						
П		合計	10	/ 10	$\rightarrow$		100点換算	100 🛦			

#### 分析・評価で 明らかになった課題 (「A」評価にするために何が 必要なのかを記入)

(参考) H24事業評価結果 (二次評価)

平成26年度を終期としている事業であり、執行内容を精査し、27年度以降の対応について検討する必要がある。

拡大

### 4 今後の方向性(Action)

課題等に対する 今年度の対応状況

・前年度に引き続き公共施設の軽微な修繕を行う。

維持·改善

	0	維持・改善		拡大	縮小	廃止の検討	H25完了予定
次年度の 実施方針 (担当課評価)	公共施	医設の軽微な修繕は継続す	<sup>-</sup> る必要	がある。			

企画課・	二次記		評価
企画課・	総務課	·財政説	評価

0

・平成26年度を終期としている事業であり、執行内容を精査し、平成27年度以降の対応を検討する必要がある。

縮小

廃止の検討

H25完了予定

事	事業名		99	土地借上料	担当課			国府支所 基盤産業課	内線 3831			
	会計		1	一般会計	, 特		Α	合併前から実施されているイベント・行				
予	款		6	商工費	位置付ける		В	一般予算の上乗せとして実施されてし	いる事業			
算	項		2	観光費	付算		С	終期を定めて実施する事業・単年度事	業			
	目		3	観光施設費	່"	0	D	その他事業				
	根拠計画											
市長公約												

#### 1 事業の目的・概要(Plan)

	誰を(対象)	特選館あじか及び宇津江四十八滝公園利用者	対象者数	220,000	人
目的	どういう状態 にしたいのか (意図)	施設用地借上			
概要	事業の 実施手法 (手段)	市の基準単価を上回る土地賃貸借			

### <u>2</u> 事業の推移・結果(Do)

		山野草花の森まつり期間、天候不順であったため入込が減少した。特選館あじかは食堂の開業も要因となり利用者 は増加した。
--	--	---

		16.1至 6	M LL		1100		1105
		指標名	単位	目標 美績	H23	H24	H25
果	<b>进上过去</b> 转		m²	目標値	230,301	230,301	230,301
	旧上い画視	""	実績値	230,301	230,301	-	
標	算出根拠等	国府人口(7845人)の6割+町外2000	人を想定	達成率(%)	100	100	-
活	社等のセルムモ	田老工物		目標値	78,960	78,960	78,960
	特選組めしか利用有人数		^	実績値	168,267	191,827	-
標	算出根拠等	補助整備事業上の計画人数		達成率(%)	213	243	-
活	四十八进八国 3	国本数/井田・ナい・プセクか)	٨	目標値	80,000	80,000	80,000
	四十八准公園人	、図有数(化図・イヤンノ場目の)		実績値	62,431	60,976	-
標	算出根拠等	入園者全体目標8万人を想定		達成率(%)	78	76	-
				目標値			
				実績値			-
	算出根拠等			達成率(%)			-
				目標値			
				実績値			-
	算出根拠等			達成率(%)			-
				目標値			
				実績値			-
	算出根拠等			達成率(%)			-
	指標 活動指標 活動指	果指標活動指標 第出根拠等 特選館あじか利 第出根拠等 四十八滝 四十八滝 四十八滝 田根拠等 第出根拠等 第出根拠等	果 借上げ面積	成果 借上げ面積	成果 借上げ面積	成果	成果 借上げ面積

	<u> </u>							
			(人件費を	事業費 上除き繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	
				歳出 (千円)	4,724	4,724	4,724	
コス		受益	者負担(使用料	•負担金等)				
F	ス 源 内 その他特定財源(国・県支出金・起債等)							
面	□ 記 一般財源					4,724	4,724	4,724
	コス指標		受益者1件当た	り(円)	(A/B)	20	19	30
			受益者	特選あじか・四十八滝公園利用者	(B)	230,698	252,803	158,960

3	分析·評価(C	heck) ※平成24年度の実績を評	価							
	評価項目	評価観点		評価	基準	評価	評価内容	容の説明(評価の理由等)		
		・事業実施に対する市民ニーズの傾向はと	A (2)	ニーズが高い			施設の利用者は多く、継続的な運営が望まれている。			
1	市民ニーズ の確認	か ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニー	-ズ B ⑴	ある程度のニーズ	゚ゕ゙ある	Α				
		は減少していないか	C (0)	ニーズが低い						
			A (2)	事業主体を見直す	「余地はない		収益施設であるため、民間への譲渡を検討する必要がある。			
2	市が実施する 必要性	<ul><li>・市が事業主体であることは妥当か</li><li>・国・県・民間の活動と競合していないか</li></ul>	B (1)	一部見直しが必要	である	В				
			C (0)	市が実施する必要	<b>厚性が低い</b>					
			A (2)	目的とする成果が	十分にあがっている		指定管理者において事業内容の充実が図られている。			
3	活動内容の 有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどう	B (1)	目的とする成果が	ある程度あがっている	Α				
			C (0)	目的とする成果があ が必要である	がってないため大幅な見直し					
		・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託化など事業の効率化・省力化に向け		事業効率化・コスト	縮減等の改善の余地はない					
4	執行方法 の効率性	施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を	B (1)	B (1) 事業効率化・コスト縮減等がある程度図られている		С	22年度、地主より値上げの強い要望があったが現状維持で継続している。			
		減する余地はないか ・受益者負担は適正か	C (0)	効率化が図られてい 要である	ないため大幅な見直しが必					
		・事業の実施が市の政策、施策の推進に対 があったか	7 (2)	効果があった		評価				
(5)	政策面に おける効果	・総合計画及び主要計画等の目標達成を 上で有効に機能したか	D (1)			m 対 象 外				
		・市長公約の実現を図る上で有効に機能し か	C (0)							
		숌計	5	/ 8 <b>→</b>			100点換算	63	点	
([	分析・評価で 明らかになった: A」評価にするたる 必要なのかを記	課題 施設の継続的運営のため、市基	準額での土地	借上料に近づくよう	_ 単価交渉を継続する必要だ	がある。				

# (参考) H24事業評価結果 (二次評価)

・市の基準に近づくよう単価交渉を継続する必要がある。

### 4 今後の方向性(Action)

課題等に対する 今年度の対応状況

特選館あじかについては、指定管理期間内でも早い時期に施設の譲渡の方向で進める。

		維持·改善		拡大	0	縮小	廃止の検討	H25完了予定
次年度の 実施方針 (担当課評価)	施設の	)継続的運営のため、市基準	準額では	の土地借上料に近づくよう』	単価交流	歩を継続する。		
		維持·改善		拡大	0	縮小	廃止の検討	H25完了予定

	二次部	平価	
企画課	総務課	·財政部	(評価)

(担当課評価に同じ)

H25完了予定